

はびねすだより 29号



今号の内容

1. 南和を守る南奈良総合医療センターの「断らない救急」
2. 健康フェスティバルを開催しました
今年のテーマは「救急と災害医療」
3. 乳房の悩み ご相談ください
～ 南奈良総合医療センターの乳腺外来 ～
4. 看護師への覚悟を誓いに
～ 看護専門学校で宣誓式 ～
5. 最新鋭のMRI 装置を導入
～ 南奈良のMRIを2台体制に ～

(表紙) 健康フェスティバル
「ドクターヘリ見学会」



南和広域医療企業団



南和を守る

南奈良総合医療センターの 「断らない救急」

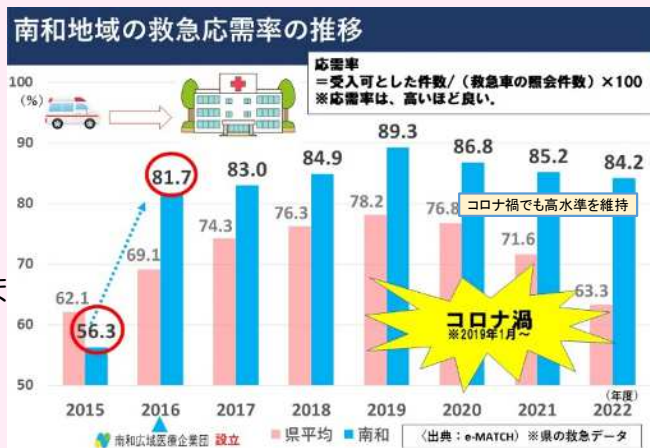
救急医療体制は、突然襲われる急病や怪我に対して24時間365日体制で医療を提供する必要があります。広大な面積を有し、都市部に比べて交通インフラが脆弱な南和地域で人々の生命を守るために、年間1万件を超える救急患者さんを受け入れる南奈良総合医療センターの「断らない救急」を目指す取り組みは続いています。

南和地域の救急応需率

「救急応需率」とは救急受け入れ要請に対して、何%の患者さんを受け入れることができたかを表すもので、高いほど「断ることなく救急を受け入れできている」ということになります。

南奈良総合医療センターが開院するまで、南和地域の救急応需率は約56.3%と奈良県平均を下回っていましたが、開院以降は81.7%から89.3%と、県内の他地域と比べても、非常に高水準で推移しています。

また、コロナ禍においても他地域と比べ高水準を維持しました。



ドクターヘリの活用や奈良県立医科大学との連携で万全の体制を

南奈良総合医療センター屋上のヘリポートにはドクターヘリが常駐しており、片道約15分で県内全域をカバーできます。ヘリには救急医療の専門医や看護師が搭乗しており、到着後すぐに適切な医療行為を行いつつ、迅速に病院への搬送を行います。

現在、南奈良総合医療センターは救急車やドクターヘリによる患者さんの受け入れを行っていますが、必要に応じて、より高度な医療が受けられる奈良県立医科大学附属病院など「高度救急救命センター」への転院も行っており、屋上のヘリポートからドクターヘリを使用して搬送を行うことも可能となっています。

このように、ヘリの活用や奈良県立医科大学附属病院との連携により、迅速で適切な医療が受けられる体制が整っています。



県内どこへでも約15分以内で到着可能なドクターヘリ

Q&A

消防署長さんに聞きました



大淀消防署 富澤署長

Q：南奈良総合医療センターの開院で南和の救急はどのように変わりましたか？

A：以前は南和地域の病院で救急を受けてもらうことができずに、他地域の病院への搬送を余儀なくされる事案が多くありましたが、南奈良総合医療センターの開院後は3次医療機関である奈良県立医科大学附属病院への搬送が必要な症例を除いて、ほとんどの救急を南奈良総合医療センターで受けて頂けるようになりました。これは、搬送時間の面から考えても非常に大きな事だと思います。

Q：日頃の業務で救命率向上のために工夫されていることはありますか？

A：少しでも早く適切な医療を受けて頂けるよう、迅速で丁寧な対応を心がけているほか、年に1回、南奈良総合医療センタースタッフとの間で症例検討会を実施するなど、研鑽を重ねつつ、お互いに顔の見える関係を心がけています。

～健康フェスティバル2024を開催しました～

今年のテーマは

「救急と災害医療」

令和6年11月17日、南奈良総合医療センターにおいて健康フェスティバル2024が開催され、約1300人のみなさんで賑わいました。

健康フェスティバルは、毎年異なるテーマに沿って開催しており、今年のテーマは「かけがえのない日常を守る～救急医療と災害への備え～」としました。院内各所では「ドクターヘリ見学会」や「災害拠点病院ツアー」などのテーマに沿った催しのほか、子ども達に人気の「緊急自動車の展示」や「ちびっ子白衣体験・ミニ看護体験」など、多彩なコーナーが設けられ、来場されたみなさんは、それぞれに楽しんでいました。



ドクターヘリ見学会



看護専門学校による「こども広場」



災害拠点病院ツアー



救急救命講習



肌診断コーナー



ミニ看護体験



肝炎相談・検査コーナー

緊急自動車の展示



ロビーコンサート



市民公開講座

乳房の悩み ご相談ください

～南奈良総合医療センターの乳腺外来～

「乳腺外来」は、乳房に関するさまざまな相談ができる診療科です。乳がんの罹患数は年々増加傾向で、年間9万人の日本人女性が新たに乳がんと診断されており、日本人女性の中で最も多いがんとなっています。

南奈良総合医療センターの乳腺外来では、医師、看護師、検査技師、リハビリ技師、相談員、外来職員などが協力して、チームで診療にあたっており、スタッフ全員が温

かみのある対応を心掛けながら、乳がんをはじめとする乳房の疾患の診断・治療を提供しています。

検査には、マンモグラフィー、超音波検査などがありますが、検査を行う技師は全員が女性です。マンモグラフィー装置も比較的痛みの少ないタイプを採用しており、思っていたほど辛くなかったとの感想をよくいただいています。また、医師は男性1名、女性1名（非常勤）で、ともに乳癌学会の乳腺専門医です。

乳がんはステージⅠなら5年生存率がほぼ100%と、早期発見・治療をすれば治りやすい病気です。また、早期発見なら乳房が温存できる可能性も高まり、治療期間も短くなります。

乳腺外来は基本的には予約制となっていますが、気になる症状がある場合は、直接来院いただいても大丈夫です。少しお待たせしてしまうかもしれませんが、できるだけ迅速に診断を進めます。紹介状をお持ちの方は地域医療連携室へご連絡ください。2次検診のかたは、外科外来に〔午後〕お電話で相談ください。乳房に関するお悩みは、ぜひ気軽にご相談ください。



南奈良総合医療センター 乳腺外来スタッフ

看護師への覚悟を誓いに

～南奈良看護専門学校で宣誓式～



令和6年10月24日、南奈良看護専門学校において「令和6年度宣誓式」が挙行されました。

宣誓式は入学後半の学習を経験した上で、改めて「看護師になる」という覚悟を誓う儀式です。一人ひとりが、自身のめざす看護師像に向かって学習を行うと強く心に誓いました。

宣誓者は、ナイチンゲールの看護の意思と灯を受け継ぎ、「初志貫徹」の精神で努力します。

最新鋭のMRI装置を導入

～南奈良のMRIを2台体制に～

このたび、南奈良総合医療センターでは新たにMRI装置を導入しました。

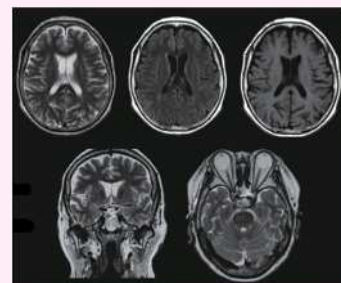
今回導入した機器は、より磁場強度が高い「3テスラMRI装置」で、脳や脊椎の微小病変、小さい動脈瘤などの血管、関節、乳房、前立腺、子宮など、全身のより高精細な画像検査を行うことができます。

新たな装置の導入により、南奈良総合医療センターのMRI装置は現在稼働しているものとあわせて2台体制となり、待ち時間短縮のほか、地域の医療機関からの検査依頼にも速やかに対応できるものと期待されています。



今回導入したMRI装置

より鮮明な描出が可能に



南奈良総合医療センター 〒638-8551

吉野病院 〒639-3114

五條病院 〒637-8511

南奈良看護専門学校 〒638-8561

南奈良訪問看護ステーション 〒638-8551

吉野郡大淀町大字福神8番1

吉野郡吉野町大字丹治130番地の1

五條市野原西5丁目2番59号

吉野郡大淀町大字福神7番地の1

吉野郡大淀町大字福神8番1

電話: 0747-54-5000

電話: 0746-32-4321

電話: 0747-22-1112

電話: 0747-54-5061

電話: 0747-54-5078